

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区

大東ロータリークラブ

■ 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL: 072-875-1200
FAX: 072-875-0590
E-mail: office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/

■ 例会
毎週火曜日 12時30分～1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL: 072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



地域を育み、大陸をつなぐ

創立 1967年12月26日

■ 会長 加藤 敏明
■ 幹事 中原 毅
■ 会報委員長 小林 誉典

2010年～2011年度
国際ロータリーのテーマ

地域を育み
大陸をつなぐ

国際ロータリー会長
レイ・クリンギンスミス

平成23年5月31日

No. 2114

H23.5.24 (No. 2113の例会記録)

今週の卓話 (5月31日)

「マジックショー」

八尾マジッククラブ 堤 幸生 氏
杉原 巨峰 会員

次週の予定 (6月7日)

「創る」事を仕事として！

999.9(フォーナインズ) 飯村 祐一 氏
成田 隆志 会員

先週の例会報告

◆ 出席報告 (5月24日分)

会員数 45名 出席数 36名 欠席者 3名
特定免除 6名 その他免除 0名
出席率 92.31%

前々回5月10日分

ホームクラブの出席者 39名 95.12%
メイクアップの結果 41名
特定免除 4名 その他免除 0名
欠席者 0名 修正出席率 100.00%

ゲストスピーカー

阪急阪神ホテルパートナーズ 梶本 憲史 氏

ロータリーソング

「それでこそロータリー」「四つのテスト体操」

ニコニコ箱

- ・入会記念日自祝 木田 眞敏 君
- ・金剛山登山参加。北本さん、小川さん
お世話になりました 感謝 樋口 秀和 君
- ・雨の金剛山、また楽しかったです
すき焼き最高！ありがとう 大西 寛治 君
- ・歩こう会お世話になりました
感謝 高島 登 君
- ・北本さん、写真有難うございます 小川 芳男 君
- ・皆さんにお世話になりました。
雨の中の金剛山登山 感謝 植田 恭平 君
- ・金剛山登山ではお世話になりました
感謝 中野 秀一 君
- ・早退お詫び 木田 眞敏 君



皆様、こんにちは。

次から次に出てくる原発の事故。非常に心配になってきております。

前週は臨時総会において、次年度会長エレクト及び副会長の変更がありました。

その際に、クラブ定款及び細則の見直しも承認され、有難うございました。



さて、本日は「標準ロータリー・クラブ定款」についてお話しいたします。

ロータリー・クラブは 200 以上の国と地域に存在し、何十もの言語、政治的・社会的構造、習慣、宗教、伝統に広く及んでいます。それでは、一体どのようにして、世界の 32,000 以上のロータリー・クラブのすべてがほぼ同一の様式で運営されているのでしょうか。これに対する主な答えは、「標準ロータリー・クラブ定款」にあります。

加盟認証を受けるためには、ロータリー・クラブは、1922 年に採択された「標準ロータリー・クラブ定款」を受容しなければなりません。この文書には、クラブが従うべき運営方法が概説されており、毎週の例会の開催、会員資格と職業分類の手続き、例会出席と会費納入の条件、その他、公共の問題や政治的な立場に関する方針等が含まれています。

「標準ロータリー・クラブ定款」が採択された時、その当時に存在していた全クラブは、その時にクラブが採用していた定款を引き続き保持してよいという合意がなされました。その後、これらの初期のクラブの多くが標準定款を支持しましたが、1922 年以前に存在した少数のクラブでは、まだ以前の定款規定に従ってクラブ運営を行っています。





「マウンドからオフィスに」

谷中 清孝 会員
阪急阪神ホテルパートナーズ 梶本 憲史 氏



本日は谷中様の代打でやって参りました梶本です。

いつも新阪急ホテルグループをご利用頂き有難うございます。

私のことや今は亡き兄の事については、『梶本隆夫物語』の本で既にご存知の事と思いますので、兄から学んだ事の中で印象に残っている事をご紹介します。

兄はいつも「味方の選手がエラーや打ってくれなくても嫌な顔をするな」「わざとではない、いつか自分のために頑張ってくれるから」と、教えてくれました。

常にポーカフェイスでなければいけないと言いたかったのでしょうか。

さて、最近、相撲界は八百長事件で騒がれています。球界はといえば、引退をする投手が地元での最終戦で打者一人限定で登板しますが、打者は100%三振をいただきます。皆さん、これは果たして八百長でしょうか？

それではここでクイズをお出しします。

時の大横綱双葉山の70連勝を阻んだ力士は誰でしょうか？

敗れた瞬間、日本中が大騒ぎになり、号外が出るほどでした。

その勝った力士がホロ酔い気分で帰って来た時、親方が傍に呼び、





「勝って褒められる力士になるより、負けて騒がれる力士になれ」と論じたそうです。私の好きな言葉です。

ではもう一問。イチロー選手が216打席目に三振をいたしました。さて、三振を取った選手は？翌朝のスポーツ新聞の第一面は全紙ともイチロー選手ばかり取り上げられ、奪った投手は小さく扱われていました。やはり負けて騒がれる人物になりたいものです。

さて、私は昭和38年秋に退団した後、昭和39年夏に開業をする新阪急ホテルに入社、営業セールスに配属されました。素人ばかりで始めるホテルのセールスで、何をするのか分かりませんでした。自分なりに考えついたのは、「第一に信用」ということです。商品売る前に「自分を売り信用を得ること」が大事です。

ある学者がこんなことを述べています。「信用は最良の商略である」。まさにこれです。私は部下に「生き残る」のではなく、「勝ち残れ」、そして営業マンは「スピードと工夫をしろ」と教えてきました。

本日は生意気な事を言ってしまいました。谷中様の代打が務まったかどうか心配です。有難うございました。

「若^{わか}あゆの 二^{ふたて}手になりて のぼりけり」

正岡子規

流れの速い瀬を、はつらつとした若あゆが
二手に分かれて、列を作ってのぼっていくよ。
季語：若あゆ（春）

